

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【公表番号】特表2016-522857(P2016-522857A)

【公表日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-046

【出願番号】特願2016-515703(P2016-515703)

【国際特許分類】

C 11 D	7/32	(2006.01)
C 11 D	7/34	(2006.01)
C 11 D	7/26	(2006.01)
C 11 D	7/22	(2006.01)
C 09 K	3/00	(2006.01)

【F I】

C 11 D	7/32	
C 11 D	7/34	
C 11 D	7/26	
C 11 D	7/22	
C 09 K	3/00	108 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月12日(2017.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 30から60質量%の範囲内の、メチルグリシン二酢酸のアルカリ金属塩およびグルタミン酸二酢酸のアルカリ金属塩から選択される錯化剤と、

(B) 1から25質量%の範囲内の、スルホン酸または有機酸の少なくとも1種の塩とを含む水溶液であって、百分率がそれぞれの水溶液の総質量に基づき、界面活性剤を含まない水溶液。

【請求項2】

9から13の範囲内のpH値を有する、請求項1に記載の水溶液。

【請求項3】

(B)が、酢酸、酒石酸、乳酸、マレイン酸、フマル酸、およびリンゴ酸のアルカリ金属塩から選択される、請求項1または2に記載の水溶液。

【請求項4】

塩(B)がメチルスルホン酸のアルカリ金属塩から選択される、請求項1から3のいずれか一項に記載の水溶液。

【請求項5】

(C)400から10,000g/molの範囲内の平均分子量M<sub>n</sub>を有する少なくとも1種のポリエチレングリコール

をさらに含む、請求項1から4のいずれか一項に記載の水溶液。

【請求項6】

請求項1から5のいずれか一項に記載の水溶液を製造するための方法であって、錯化剤(A)の水溶液と塩(B)とを合わせる工程を含む方法。

**【請求項 7】**

ランドリーケアまたは食器洗浄用配合物を製造するための、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の水溶液を使用する方法。

**【請求項 8】**

管または容器中で輸送するための、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の水溶液を使用する方法。